

## 今月号の内容

1. ベルギーの政治・社会動向 .....	1
2. ベルギーの経済・産業動向 .....	2
3. 月例経済指標.....	4
4. EU の動向   JETRO ビジネス短信より .....	5
5. お知らせ .....	7

### 1. ベルギーの政治・社会動向

#### 1 フランダース政府、個人のゼロエミッション車購入に対する補助制度を終了

フランダース政府は、個人のゼロエミッション車の購入に対する補助制度の終了を決定した。9月に発足した新政権は、同制度は十分な効果を発揮したとして、当初の予定より1カ月前倒した11月23日に終了すると発表。前政権が導入した制度で、4万ユーロ以下の車両（中古車の場合は6万ユーロ以下、PHEVは対象外）の購入を対象に、最大5,000ユーロ、中古車には3,000ユーロを補助するもの。2023年9月25日以降の売買契約から適用が開始され、2024年10月までに、1万1,590件の申請があった。（2024年11月6日）

#### 2 ベルギー産業界、米次期政権で地政学リスク悪化を懸念、競争力確保など求める

米国大統領選挙の結果を受け、ベルギー北部のフランダース地域の商工会議所（VOKA）と南部のワロン地域の商工会議所（akt）は、保護主義を柱とする米次期政権の政策は世界経済に影響を与えかねず、両地域の輸出にも影響が出る可能性を危惧した。ベルギーにとって米国はEU域外最大の輸出相手国で、2023年は輸出全体の7%を占める。両商工会議所は、ベルギーは経済的にも軍事的にも米国からより自立する必要があるとし、企業の競争力確保を求めた。（2024年11月6、14日）

★詳細はジェットロビジネス短信（2024年12月2日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/94bd3e69517ec85c.html>

#### 3 COP29、ベルギー産業界の意気込み低下も

11月11日から24日までアゼルバイジャンで開催された国連気候変動枠組み条約第29回締約国会議（COP29）で、連邦政府のド・クロー首相は参加国に対し、気候変動対策に関し、誰一人取り残さないよう呼びかけた。一方、報道によれば、ベルギー代表団は、前回ドバイで開催されたCOP28よりも小規模となる140人程度で、産業界の意気込みは低下しているという。特にベルギーの主要企業のうち、ベカルト（鋼線加工）や、ジョンコックリル（水素・機械エンジニアリング）、ユーロクリア（金融サービス）は、アゼルバイジャンでの投資機会が少ない点や、既に十分にプロジェクトが進行しているという理由から今回参加を見送った。（2024年11月12日）

#### 4 デジタルウォレット「Wero」、ベルギーでサービス開始

欧州の決済サービス「Wero」は、ベルギーで正式にサービスを開始した。Weroは、ヨーロッパの16銀行が、PayPalやMastercard、Visaなどのサービスに対抗するために共同で設立

した決済サービス。ベルギーで利用されている決済サービス Payconiq は移行期間を経て Wero に置き換えられる。顧客は、QR コードをスキャンまたは生成することにより、他の口座への送金や着金が可能。Wero は既にドイツとフランスでサービスを開始しており、オランダとルクセンブルクでも、今後利用できるようになる。また、来年からは、定期購入の支払いや、レンタカーやホテル予約のデポジット、代金引換も利用できるようになる。（2024 年 11 月 19 日）

## 5 計測史上、最も温かい 11 月 24 日を記録、2024 年は降水量が最も多い年との見通し

ブリュッセルの南部に位置するウックル気象センターは、17.5 度を記録し、最も温かい 11 月 24 日になったと発表した。これまでの同日の最高気温は、2003 年の 15.8 度だった。また、同気象センターによれば、2024 年の累積降水量は 1088.8 ミリを記録し、既に今年は「ベルギーで記録された最も雨の多い年」だという。特に 2024 年は大雨の日数が多かったとして、2001 年に記録された 1088.5 ミリを既に上回っている。（2024 年 11 月 25、27 日）

## 6 新外相としてベテラン外交官であるカンタン氏を任命

12 月 1 日、新しい欧州委員会の発足に伴い、ベルギー外務・欧州・貿易・連邦政府文化機関相で欧州委員に就任した Hadja Lahbib（ハジャ ラビブ）氏の後任として、Bernard Quintin（ベルナール カンタン）氏が任命された。カンタン氏は、前任と同じく「改革運動」（MR、穏健リベラル）の所属で、外務省出身。ワルシャワ、ロンドン、キンシャサ、欧州連合（EU）常駐代表部勤務後、リオデジャネイロ総領事と駐ブルンジ・ベルギー大使を務めたベテラン外交官。（2024 年 11 月 30 日）

## 2. ベルギーの経済・産業動向

### 1 欧州委、EU の 2024 年 GDP 成長率予測を 0.9%に下方修正も、成長継続を見通す

欧州委員会は、秋季経済予測で、ベルギーの 2024 年の実質 GDP 成長率は、1.1%と、EU27 カ国の 0.9%、ユーロ圏 20 カ国の 0.8%を上回る見通しとした。一方、前回の春季経済予測からは、0.2 ポイント下方修正された。内需と外需の改善に支えられ、2025 年に 1.2%、2026 年に 1.5%と徐々に上昇する見通し。（2024 年 11 月 15 日）

★詳細はジェットロビジネス短信（2024 年 11 月 26 日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/11/e043661e4827a58b.html>

### 2 アントワープ・ブルージュ港、NextGen Demo で実証を目指す企業の募集を開始

アントワープ・ブルージュ港は、循環型経済を促進するための革新的技術を、同港敷地内に準備した NextGen Demo 内で、実証から商用化を目指す企業のプロジェクト募集を開始した。対象プロジェクトは TRL（Technology Readiness Level）6-8 で、5 の段階から応募可能。2 ヘクタールの敷地に 10 のプロジェクトを誘致予定で、既に 2 社の実証が決定している。選定されたプロジェクトは、実証後、同じく同港内の NextGen District または他の場所に移動し、継続することができる。NextGen Demo は、持続可能な資源とエネルギーの転換に資する技術に焦点を当て、実証と商用化の橋渡しの場として機能する。（2024 年 11 月 26 日）

### 3 水素展示会「European Hydrogen Week」に初のジャパンパビリオン設置

欧州委員会などは 11 月 18～21 日、ブリュッセルで 3 回目となる European Hydrogen Week を開催した。水素バリューチェーン全体の関係者が一堂に会し、政策、ビジネス、技術、研究開発から資金調達などをテーマに、官民関係者による登壇セッションと展示会が行われた。水素関連事業への投資決定の遅れは生じているものの、水素の製造、利活用なしには気候中立は達成できないとした。ジェトロは、15 社・団体の参画を得て、初めてジャパンパビリオンを設置し、日本企業の技術、製品を PR した。

★詳細はジェトロビジネス短信（2024 年 12 月 3、5 日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/f5af530193303eaa.html>

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/7c16f2b3040c0efb.html>（B2B フォーラム）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/c1abbd8b94b3136a.html>（ハイレベル政策会議）

### 4 第 3 四半期の GDP 成長率は前期比 0.3%、低成長続く

ベルギー国立銀行（NBB）は、2024 年第 3 四半期（7～9 月）のベルギーの実質 GDP 成長率を前期比 0.3%（季節調整済み）と発表した。ベルギーの GDP は 2023 年第 3 四半期のゼロ成長後、2023 年第 4 四半期（10～12 月）からは 4 期連続で前期比 0.3%の低成長が続いている。

（2024 年 11 月 29 日）

★詳細はジェトロビジネス短信（2024 年 12 月 4 日付）

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/a0d7eb611d173fba.html>

### 5 アルセロール・ミタル、脱炭素化に向けた取組状況の進捗を発表

鉄鋼大手アルセロール・ミタルは、欧州での脱炭素化に向けた取組の一環である天然ガス（将来的にはグリーン水素）を利用した直接還元鉄（DRI）プラント建設にかかる環境は整っておらず、競争力が確保できない現況下で最終投資判断を行うことは難しいとした。同時に、製鉄の脱炭素化に向けた取組、技術開発は変わらないとし、電気高炉の建設や、長期的に炭素回収利用貯留（CCUS）技術の開発などを継続する方針を示した。ベルギーのгент工場には、商業規模で稼働している CCU 設備があり、脱炭素化に向けた 2 件の実証が進行している。（2024 年 11 月 26 日）

### 6 アウディ・ブリュッセル工場での生産終了が決定

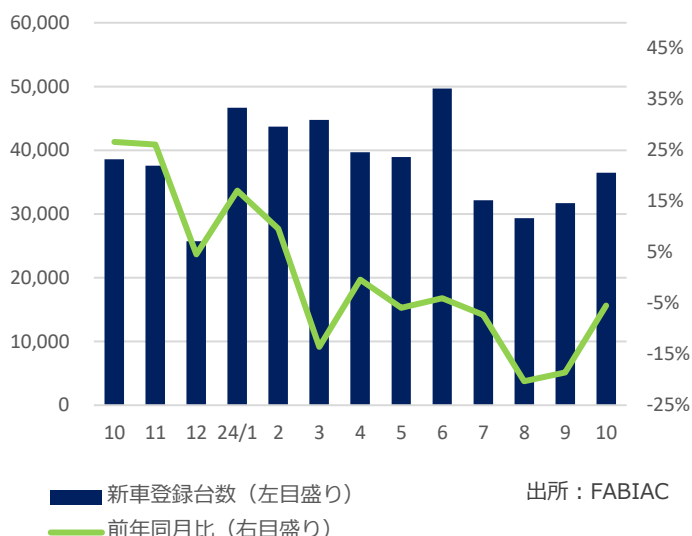
現地報道によると、ブリュッセル南部、フォレストに位置するアウディ・ブリュッセル工場での生産は 2025 年 2 月に終了することが決まった。買い手としての投資家との交渉は決裂した。同知らせを受けてド・クロー首相は、工場跡地の将来的な可能性を検討するタスクフォースを招集する旨を発表した。同工場はブリュッセルの南西に位置し、大きな潜在性を持っている点を強調しつつ、工場閉鎖に伴う約 2,900 人の再雇用も確保したい見込み。（2024 年 11 月 12、15 日）

### 3. 月例経済指標

#### 10月の新車登録台数 前年同月比 5.48%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）によれば、10月の乗用車の新車登録台数は、3万6,447台（前年同月比5.48%減）と縮小した。メーカー別では、BMWのシェアが14.26%と最大で、フォルクスワーゲン(9.23%)、メルセデスベンツ(7.36%)が続いた。（2024年11月6日）

新車登録台数の推移



#### 11月のインフレ率 前年同月比 3.20%上昇

連邦経済省の発表によると、11月の消費者物価指数は、前月と同様に前年同月比で3.20%上昇した。衣料品、天然ガス、電力、家電とその修理、休暇村、パン・穀物類、が押し上げ要因となった。一方、海外旅行、国内旅行、航空券代、ホテル宿泊代が押し下げ要因となった。（2024年11月28日）

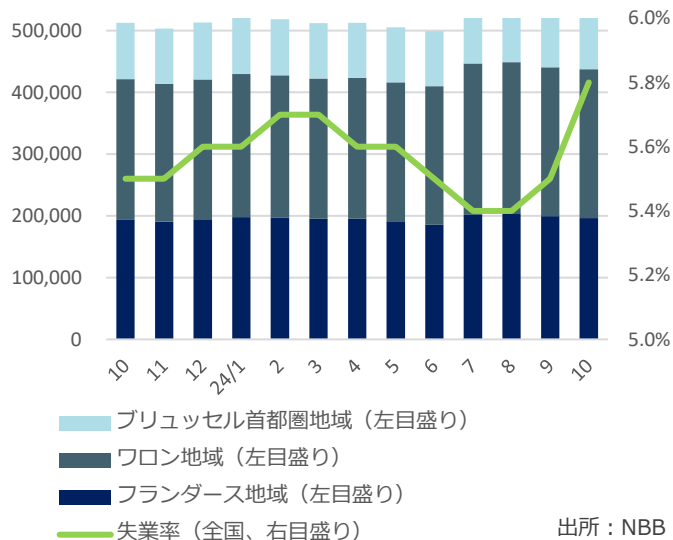
消費者物価上昇率（前年同月比）



#### 10月の失業率 5.8%、前年同月比 0.3ポイント増

ベルギー国立銀行（NBB）によれば、国内の10月の失業率（季節調整値）は、前月から横ばいの5.8%（前年同月比0.3ポイント増）だった。各地域政府が発表した失業率をみると、ブリュッセル首都圏地域の9月の失業率は、前年同月比（以下同じ）0.2ポイント増で14.7%、フランダース地域は、0.1ポイント増で6.7%となった。ワロン地域は、0.8ポイント増で14.6%となった。地域別の失業者数では、フランダース地域が19万6,392人、ワロン地域が24万1,195人、ブリュッセル首都圏地域が9万2,435人だった。

失業率と地域別失業者数の推移



（2024年11月6日）

※ベースとなる労働力人口の算出方法は地域により異なる。

#### 4. EUの動向 | JETRO ビジネス短信より

- (1) 欧州会計検査院、国家補助緩和の影響評価と監督強化を提言 (2024年11月1日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/6af27ed30c80e395>
- (2) 欧州委、イノベーション基金の補助金交付事業を発表、産業界の脱炭素化支援を強化 (2024年11月1日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/156beb3bc3d315a9>
- (3) 中国、EUの中国製EVへの相殺関税導入を保護主義と批判 (2024年11月5日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/87453da752ec3e99>
- (4) EU、中国製BEVに対する相殺関税措置を発動、協議継続の方針も表明 (2024年11月6日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/d651540bf8116796>
- (5) 欧州産業連盟、秋季経済見通しを発表、EUに競争力強化策の実行を要請 (2024年11月11日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/b4bde04701f98f9a>
- (6) EU理事会、デジタル時代における付加価値税ルールに関して合意 (2024年11月11日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/b464c6045465a0e4>
- (7) 欧州委委員長、トランプ氏に祝意表明、注視される気候変動対策とエネルギー政策への影響 (2024年11月12日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/3dff94841dc9c49b>
- (8) 欧州産業界、EUのDD指令に関し、企業の負担軽減や関連法令の早期整備を要請 (2024年11月12日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/73a7460b8b9b2bb2>
- (9) 欧州委と消費者当局、アップルに対し地理的ブロック行為の停止を要請 (2024年11月14日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/cf046cd37f0aafb1>
- (10) 欧州産業界、トランプ氏にEUとの関係強化を提言 (2024年11月18日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/18804bac6e8b5135>
- (11) 欧州議会、森林破壊防止デューデリジエンス規則改正案を可決、適用1年延期へ (2024年11月18日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/285f692b53a4d1b2>
- (12) 欧州環境庁、EUの2023年のGHG排出量削減進むも、継続的な取り組み求める (2024年11月18日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/1770828e1757e991>
- (13) EU首脳、産業競争力強化の方針を再確認、欧州委はCSRDとCSDDDの再編の方向性示す (2024年11月18日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/31815ac353ad8046>
- (14) EU、強制労働製品のEU域内流通と域外輸出を禁止する規則案を採択、3年後に適用開始 (2024年11月22日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/78d3db7d79549b19>

- (15) 欧州議会中道 3 会派、欧州委員人事案で合意、欧州委員会新体制は 12 月 1 日発足へ (2024 年 11 月 25 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/6266df42821d7561>
- (16) 欧州委、EU の 2024 年 GDP 成長率予測を 0.9%に下方修正も、成長継続を見通す (2024 年 11 月 26 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/e043661e4827a58b>
- (17) 欧州産業連盟、EU に長期的な視点に立った対中戦略策定を提言 (2024 年 11 月 27 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/0d9a1ee85da1a2a1>
- (18) 欧州議会、欧州委員人事案を承認、第 2 次フォン・デア・ライエン体制は 12 月 1 日始動 (2024 年 11 月 28 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/5a89117c0b1cbd0a>
- (19) 世界の政治・経済日程 (2024 年 12 月~2025 年 2 月) (欧州) (2024 年 11 月 29 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/11/ca37a565c9b5f3d1.html>
- (20) 第 2 次フォン・デア・ライエン体制が発足、2029 年までの立法サイクルが本格始動 (2024 年 12 月 3 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/27a2152349497af3.html>
- (21) 水素展示会「European Hydrogen Week」にジャパンパビリオンを設置 (2024 年 12 月 3 日付)  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/12/f5af530193303eaa.html>

★次のページにレポート・イベント等のお知らせがあります。

## 5. お知らせ

### ★メールマガジン「ジェットロ EU トピックス」のご案内

ジェットロ・ブリュッセル事務所では、EU の最新情報や欧州域内のジェットロ各事務所が実施するセミナー情報などをお届けするメールマガジン「ジェットロ EU トピックス」を配信しています。配信日は毎月第 1 木曜日を目安としています。配信を希望される方は、以下のようにお申し込みください。

(1) 欧州域内にお住まいの方：以下の必要事項をご記入の上、ジェットロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp)) までお申し込み下さい。

①お名前とご所属先（英文・和文）、②お住まいの国名、③送付先メールアドレス

(2) 欧州地域以外に在住の方：以下の URL からお申し込みください。

[https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be\\_brussels/mail.html](https://www.jetro.go.jp/jetro/overseas/be_brussels/mail.html)

※内容についてなど、ご質問などございましたら、ジェットロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp)) までお問い合わせください。

### 調査レポートのご案内

- 地域分析レポート「EU、失速する EV 需要の中、相殺関税措置発動」  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/1201/17130c263f8c2052.html>
- 地域分析レポート「中国の EV メーカー、追加関税でもドイツでのビジネスを拡大」（2024 年 12 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/1201/c380652791fa4df9.html>
- 地域分析レポート「急拡大する中国 EV 関連企業のハンガリー進出（2024 年 12 月）」  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/1201/5137faa0888a099f.html>
- 特集「中国 EV・車載電池企業のグローバル戦略」もあわせご参照ください。  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/1201/>
- 調査レポート「EU 循環型経済関連法の最新概要-エコデザイン規則、修理する権利指令、包装・包装廃棄物規則案-」（2024 年 11 月）  
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/e2a3dada17af22e3.html>
- 調査レポート「サプライチェーンと人権」に関する法制化動向（全世界編 第 1 版）」（2024 年 11 月）  
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/aea11c7aa332ac1f.html>
- 特集「欧州最新政治情勢：欧州の行方を見定める注目論点」  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/>
- 地域分析レポート「国内政治の新たな課題と継続する EU との摩擦（ハンガリー）」（2024 年 11 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/bc4acf7ea7bfd0ad.html>
- 地域分析レポート「与党支持率は堅調、「極右」から「親 EU」に（イタリア）」（2024 年 12 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0701/283152a9184e0b94.html>
- 特集「2024 年欧州政治動向」もあわせてご参照ください  
<https://www.jetro.go.jp/biznews/feature/europolitics2024.html>

- 特集「変貌する世界の半導体エコシステム」  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0501/>
- 地域・分析レポート「世界をリードする半導体の研究開発、域内での実用化は進むか（欧州）」（2024 年 10 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0501/905bf657d92ed455.html>
- 地域・分析レポート「半導体生産、世界シェア 2 割へ険しい道のり（欧州）」（2024 年 10 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/special/2024/0501/1c6b36b885ea5ed9.html>
- 地域・分析レポート「現地所長が解説 ポーランドとハンガリーのビジネスの最新動向」（2024 年 10 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/84a9a6a86617d6e6.html>
- 地域・分析レポート「現地所長が解説 チェコ、ルーマニア、西バルカンの最新動向」（2024 年 10 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/33b467ac1110e670.html>
- 調査レポート「ルーマニアのエネルギー市場動向-日本企業の事業機会」（2024 年 10 月）  
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2024/01/5504b3351deff4c8.html>
- 地域・分析レポート「ルーマニアのエネルギー産業 欧州有数の資源国ルーマニア、EU 目標達成目指し再エネ導入急ぐ」（2024 年 10 月）  
<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2024/f7c5f6376032fdd4.html>

ジェットロでは、上記以外にも様々な欧州関連の調査レポート、地域・分析レポートを公開しています。以下 URL よりご参照ください。

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/europe/reports/>  
<https://www.jetro.go.jp/areareportstop/europe/areareports/>

### ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ

ベルギー日本人会商工委員会と JETRO ブリュッセル事務所は、EU の政策動向、欧州各国の政治・経済情勢、労務・法務・会計等の制度情報など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に 4 回程度開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、[belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp) までメールアドレスをご連絡ください。

### ベルギー拠点設立に関する専門家相談サービスのご案内（法務・労務・税務）

JETRO ブリュッセル事務所では、ベルギーに拠点設立を検討されている企業様、または進出後まもない企業様を対象に、弁護士・税理士等によるコンサルティングサービスを提供しています。2 時間まで無料でご利用いただけます。ぜひご活用ください。

※原則として中堅・中小企業を対象としていますが、大企業も対象とできる場合があります。詳細はお問合せください。

### サービス詳細・お申込み

<https://forms.office.com/r/MDqXipfgZf>

mailto:お問合わせ先 | ジェトロ・ブリュッセル事務所 ([belinfo@jetro.go.jp](mailto:belinfo@jetro.go.jp))